

8月1日、Global Leader Programにおけるアントレプレナーシップ教育、「Grassroots Innovator Program」の前期最終発表会を開催しました。

このプログラムは、タクトピア社との共同運営で昨年度より行っているものですが、今年度は前期8回、後期8回の計16回をかけて開催しています。

「Grassroots 草の根」のように、自分自身が大地にしっかりと根を張って、その足下からさまざまな問題を発見し、すこしでもだれかを幸福にし、たとえわずかでも世界を変えていく。そんなChangeMakerを育てていくことを目的としています。

コロナ禍の中、中学3年・高校1年の107名が希望参加しました。土曜日午前中3時間の授業を5回のオンラインと2回の対面授業を経てこの日の発表に至りました。Zoomを駆使して、たとえ実際に顔を合わせないオンライン上であっても、自分達の解決したい問題意識を仲間とともに協働して解決していくことに挑戦しました。

当日は全25チームを、3密を避けて、カフェテリアと視聴覚教室の2カ所に分け、現在活躍されている若手起業家を審査員に迎えて最終ピッチを行いました。

カフェテリアの優勝チームはFeeny Sun(下の写真)。どうしても雨に濡れては困る人を助けるための、「雨に濡れない傘」を考案しました。



視聴覚教室の優勝チームは MEITIAL(下の写真)。スマホが勉強の妨げになって、どうしても集中できない人を助けるための、「スマホをうまく収納する道具」を考案しました。



どのチームも自分達の身近な問題を原点として考え、試作品を考案し、最終ピッチにまで至っていました。

後期はこれをいよいよビジネスとして実装していきます。107人の若きイノベーターの卵たちがこれからどんな成長を遂げていくか、今からとても楽しみです。



視聴覚室チーム審査員の起業家ピオー・豊氏(写真右)と時乗洋昭校長